

これからの 地域社会のために

川崎市議会議員(中原区)

いど清貴

きよたか

私たち市議会議員の役割は、市民の代表として、市政の方針を決定したり、市政の運営を監視したりすることです。



令和8年第1回市議会定例会のご報告

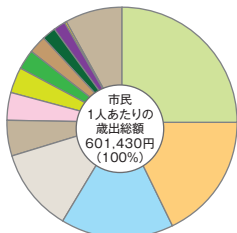
「令和8年第1回市議会定例会」が2月12日から開催され、3月18日に閉会いたしました。本定例会では、新年度である令和8年度予算(案)を中心に審議・議論を行いました。2月26日には所属会派の代表質問が行われ、3月5日～10日には各議員が予算について深く議論する「予算審査特別委員会」が開かれました。本年、私は同委員会の「副委員長」という大役を拝命し、より責任ある立場で川崎市の未来を創る予算審査に向き合っていました。今号は、定例会での代表質問のトピックスに加え、裏面にてこの1年間(令和7年度)の活動実績をまとめた「総括号」としてご報告させていただきます。



令和8年度 川崎市予算案 ～市民1人あたりの税金の使いみち

新年度(令和8年度)の予算案が発表されました。私たちが納めた税金がどのように使われているのか、市民1人あたりの金額に換算してご紹介します。今年度の市民1人あたりの歳出総額は601,430円となり、前年度(575,351円)から手厚くなっています。

保険・医療・福祉	151,430円
子育て支援	106,380円
学校教育・生涯学習	95,968円
道路・公園緑地・河川・下水道の整備と安全なまちづくり	68,968円
行政運営	31,369円
計画的な街づくり	23,416円
環境・リサイクル	20,528円
地域経済の発展	16,926円
区政の振興に	15,395円
港湾整備	12,230円
共生・参加の街づくり	10,067円
交通・水道の経営安定	1,195円
その他	47,558円



▲川崎市ホームページ、予算の使い道から引用 (※2026年1月1日現在の推計人口による)

過去最大の令和8年度予算! 市税収入増の要因と今後の課題

【質問】令和8年度の一般会計予算案は約9,378億円、市税収入は約4,272億円と過去最大を更新しました。特に個人市民税において150億円もの増収を見込んでいる要因と今後の見通しを伺います。

【答弁】高水準の賃上げを背景とした所得増が要因です。今後は一定の増収が期待される一方、「ふるさと納税」による税収流出や「年収の壁」見直しの影響も想定されるため、予算編成において的確に見込んでまいります。

【今後の展開】好調な税収を市民サービスへしっかり還元しつつ、将来のリスクにも備えた堅実な財政運営を求めてまいります。

全校展開を見据えて! 学校の「朝の居場所づくり」モデル実施へ

【質問】令和8年度から各区1校でモデル実施される「朝の居場所づくり」について、持続可能な運営体制や、1限目への円滑な接続など教育的効果を見込んだプログラム内容、安全管理、さらに他都市で先行する朝食提供の可能性について伺います。

【答弁】教職員の新たな負担とならないよう、地域の

域の協力を得て持続可能な体制を整備します。子どもたちが充実した1日のスタートを迎えられるよう、図書室を活用した読書活動など多様なプログラムを検討し、全校設置の仕組みづくりに反映します。マニュアル作成や保険対応も進め、朝食提供は他都市の動向等を注視します。

【今後の展開】令和8年度は各区1校ずつのモデル実施から始める方針です。将来の全市展開がより良いものとなるよう、引き続き注視してまいります。

小学校等の給食費が 実質負担ゼロへ!質の維持と今後の課題

【質問】令和8年度から国の交付金等により、小学校等の給食費は保護者負担が求められない(実質無償)となります。この暫定的な対応の周知と、物価高騰下における教育の一環としての給食の「質」の維持・向上について伺います。

【答弁】令和8年度は国の重点支援地方交付金を活用した暫定対応であり、恒久的な「制度的無償化」ではないため、4月頃に正式通知理解を求

めます。給食の質については、生きた教材として「健康給食」をコンセプトに、安全で美味しい給食を引き続き提供してまいります。

【今後の展開】単なる負担軽減や無償化という言葉が一人歩きしないよう、教育の一環として「給食の質」を維持することが重要です。栄養価や美味しさに加え、子どもたちがしっかり味わう「食事時間の確保」も含めた、真に魅力ある給食環境の実現へ向けて取組を推進してまいります。

IDO-KIYO Times 1年間の総括号

【特別保存版】



代表質問と一般質問で動かした「この1年の実現アクション」表面では最新の定例会(令和8年度に向けた取り組み)をご報告しましたが、こちらの面ではこの1年間で大きく前進した実績を総まとめしました! 所属する「みらい川崎市議会議員団」としての代表質問による大きな政策提言と、私個人の一般質問を通じ、皆様からいただいた現場の声を市政に届けて実現した「川崎市のみらい」をご報告します。



妊娠期から切れ目ない支援へ! 子育て世帯の負担軽減と環境づくり

妊婦健診の助成額が
「135,000円」に大幅増!

これまでの補助額を大幅増額しました。さらに、受診券ごとに金額が設定されている課題を指摘し、制度の効果が最大限発揮されるよう受診券の金額構成や使用ルールの柔軟な見直し・最適化を強く要望しています。

産後ケアの拡充と
「持続可能な」制度づくり



産後うつや育児不安を防ぐため、日帰り・宿泊型ケアの対象を1歳未満まで拡大するよう求めています。同時に、費用面の支援拡充だけでなく、受け手(ご家族)が安心して利用でき、かつ提供側(事業者)の負担も考慮した「持続可能な制度と環境づくり」を訴えています。

小児医療費助成が
「高校生」まで拡大!(本年9月~)

中学生までだった対象が高校生相当まで拡大し、通院1回500円の負担金も廃止されます。私は「少しでも早く家庭の負担軽減を」と本年4月からの実施を議会で強く訴え、議論を重ねてきました。9月開始となりますが、引き続き丁寧な広報や簡素化した手続きなどを求めています。

環境にとらわれず
「迷わず相談できる」無料SOS回線へ!

電話料金がネックとなりSOS発信をためらうことがないよう課題を指摘。本年度から相談窓口をフリーダイヤル(無料)に統一する方針となりました。



学校給食の
「食べる時間」をしっかりと確保!

「食べる時間が短い」という声を受け、準備や片付けとは別に20分以上の食事時間確保や、他都市の工夫を取り入れた改善を各学校へ求めていきます。

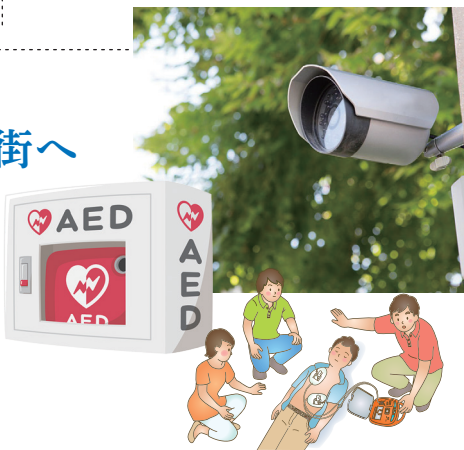


▲写真はイメージです

災害や犯罪に強い、 誰もが安心して暮らせる街へ

「いつでも使えるAED」が大幅拡大!
コンビニ連携は第2弾へ

24時間365日使えるAEDが289台へと大幅増加しました。セブン-イレブンに続き、新たにファミリーマート(市内9店舗)とも設置協定を実現!(令和8年3月~順次開始)。多摩川河川敷や公園などスポーツ中のリスクにも対応し、命を守るネットワークがさらに広がっています。



防犯カメラで事件解決率約7割!
他地域への拡大も検討へ

川崎駅周辺の防犯カメラ100台が犯罪抑止に貢献し、画像提供により約7割の事件解決につながる成果を上げました。この実績を受け、今後は駅周辺や通学路など他地域への設置展開に向けた検討が進められています。

多摩川河川敷のトイレを快適に!

今後4年間で28棟のトイレを整備。男女別設置やバリアフリー化、乳幼児用設備の拡充を進め、あわせてAEDの設置も検討していきます。



EBPM (Evidence-Based Policy Making) 経験や勘ではなく、データ等の客観的根拠(エビデンス)に基づいて政策を立案・評価する手法。政策の目的と手段を論理的に結びつけ、効果の高い施策を実現し行政への信頼を確保することを目指す。

▲写真はイメージです

納得と共感を生む、 データに基づいた新しい市政の形へ

データ活用(EBPM)で
「子どもや家庭の状況に合った支援」を

これからの市政において、感覚や慣例ではなく客観的なデータに基づく政策形成(EBPM)は、市民の皆様との透明性の高い合意形成において極めて重要な判断材料になります。その具体的な取り組みとして、教育・福祉・医療などの情報を横断的



に活用する「こどもデータ連携」を議会で提案しました。データの力で子どもの些細な変化を早期に把握し、一人ひとりの状況に合った支援へ確実につなげる仕組みづくりを進めています。

PROFILE

いど清貴(38歳)
1987年11月20日生まれ、中原区下小田中在住
拓殖大学卒業後、富士通グループに入社会社員を経て
2023年4月施行の第20回統一地方選挙
中原区選挙区より挑戦、6,619票を獲得し初当選、
2023年5月より川崎市議会議員
会派:みらい川崎市議会議員団、環境委員会

【連絡先】 事務所 〒211-0041 川崎市中原区上小田中6丁目50-1
TEL 044-299-7373 / FAX 044-299-7374

いど清貴
きよたか
YES, I DO!



詳しくは
ホームページを
ご覧ください

LINEからも対話できますので
お気軽にご連絡ください。



LINE